

NEC

Express5800

ラック型無停電電源装置(UPS)：N8142-11B/22A/23A/29

使用上のご注意

必ずはじめにお読みください。

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。




### 使用上のご注意（必ずお読みください）

#### 安全にかかわる表示について







本製品を安全にお使いいただくために、この使用上のご注意の指示に従って操作してください。

この使用上のご注意には本製品のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。





使用上のご注意、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「**危険**」「**警告**」「**注意**」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>危険</b> 人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	<b>警告</b> 人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	<b>注意</b> 人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。








	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意 
	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止 
	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜く 

#### （使用上のご注意での表示例）







注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		<b>警告</b>
 	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

#### 本書と警告ラベルで使用する記号とその内容




##### 注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	爆発や破裂による傷害を負うおそれがあることを示します。		

##### 行為の禁止

	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。









##### 行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		





#### 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示について」の説明を参照してください。











##### ■ 全般的な注意事項

	<b>警告</b>
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
	規格以外のラックで使用しない 本装置はEIA規格に適合した19型（インチ）ラックにも取り付けで使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用するラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
 	指定以外の場所で使用しない 本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。







### 注意

 	海外で使用しない 本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
 	装置内に水や異物を入れない 装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。






##### ■ ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

	<b>注意</b>
 	1人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック（44Uラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
 	荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
	ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。
	複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない 複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。
	定格電源を超える配線をしない やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。





##### ■ 電源・電源コードに関する注意事項

	<b>警告</b>
 	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
  	アース線をガス管につながらない アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。













### 注意

 	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。 また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
 	中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
















##### ■ 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	<b>危険</b>
  	●引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。 ●本製品のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。

### 警告

	●ラック取付ブラケットには、脱落防止（ストッパー／ロック）機構がありません。装置をラックから取り出す際は装置の底面をしっかりと持って引き出してください。
 	●保守員以外の人は、本製品の分解・修理・改造などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
	●本製品をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
 	●本製品のお手入れの際は、感電することがありますので、フロントパネルのOFFボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜いてください。 ●本製品はバッテリーを搭載しているため、電源ケーブルを外した状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分がありますので絶対、装置内部に触れないでください。 ●濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。 ●雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本製品に触れないでください。感電することがあります。
 	●本製品は、安全のためD種以上の接地工事（接地抵抗100Ω以下）が必要です。接地工事を行わない場合、感電することがあります。 ●本製品をアース付コンセント以外のコンセントに接続しないでください。2極変換プラグ等を使用してアースの付いていないコンセントに接続した場合、感電することがあります。 ●本製品の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線をほかの接地線（とくに大電力を消費する装置など）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
 	●電源はAC100Vで30A以上のコンセント（NEMA L5-30R）から直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。 ●電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。本製品の電源仕様に合わせていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
 	●バッテリーの寿命は、およそ3年でなくなりますので、定期的な交換が必要です。周囲温度が25℃以上であったり、放電回数が多くと寿命が短くなります（周囲温度40℃：1.4年）。おはやめの交換をお勧めします。寿命を過ぎたバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因となります。

### 注意

	1人で持ち上げない 本製品の質量はN8142-23Aの場合は約28Kg、N8142-11Bの場合は約54Kg、N8142-29の場合は約44Kg、N8142-22Aの場合は22Kg（構成によっては異なる）あります。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。 装置は2人（N8142-23A、-22A）または3人（N8142-11B、-29）以上で底面をしっかりと持って運んでください。 また、フロントベゼルを取り付けた状態で持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因となります。
 	指定以外の場所に設置・保管しない 本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ●ほこりの多い場所。 ●給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ●直射日光が当たる場所。 ●不安定な場所。
 	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
 	カバーを外したまま取り付けない 本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。
	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどを指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
	ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない ラックから引き出された状態にある装置の上から重荷をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。
 	プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。 また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ●破損したケーブルコネクタを使用しない。 ●ケーブルを踏まない。 ●ケーブルの上にものを載せない。 ●ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ●破損したケーブルを使用しない。
	本製品は、標準入力プラグのままでは最大容量を使用することはできません（N8142-23Aは12A/1200VA、N8142-11Bは23A/2250VA、N8142-29は24A/2400VAまで使用可能）。最大容量（N8142-23Aは15A/1500VA、N8142-11B、-29は30A/3000VA）を必要とする場合は、N8142-23Aは20Aのプラグに、N8142-11B、-29はHARD WIREによる、端子台接続に取り替える必要があります。 また、N8142-23Aは入力コンセントの電源工事を、N8142-11B、-29は分電盤回路への接続には資格を有した電気技術者が行う必要があるため、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
	●レーザープリンタを本製品に接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本製品が過負荷状態になる可能性があります。 ●全装置を稼動させるシステムをテストして、本製品が過負荷状態にならないことを確かめてください。過負荷状態については、「負荷のモニタリング(p.46)」を参照してください。
	●電波や強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、携帯電話、PHS、放送／通信アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近くには、設置しないでください。誤動作の可能性あります。やむを得ない場合は、保守員に連絡してシールド工事を行ってください。



